

学園教育目標

自らを高め 共に生き 希望を抱いて未来を拓く

【学園経営目標】

たくましく、しなやかに、社会を生き抜く「力」をつける  
～ 9年間で「自立」(主体性)と「自律」(社会性)の基礎を培う～

【めざす子ども像】

夢と希望をもち、自分のよさをいかして社会に貢献できる子ども

自己実現に向けて自分を推進する力

将来の自分を想い、夢と希望をもち、その実現に向けて、ひたむきに努力する子

自己管理・調整能力 (自分を高める力)

目標の達成に向けて、見通しをもって粘り強く取り組もうとする子

社会形成能力 (人とつながる力)

自分を大切に、他の人のよさや違いを認め、共に生きる子

課題対応能力 (自分と向き合う力)

知的的好奇心と向上心をもち、「わかる(知識)」「できる(経験)」を次につなげようとする子

- 集団生活をする上でのルールやマナーを重んじ、だれにとっても居心地の良い生活空間づくりに励む
- 何事にも諦めることなく取り組み、自分を高めるための努力を継続させる
- 教師や仲間の話に耳を傾け、幅広い視野の獲得を目指す
- 自己の将来や進路に関心をもち、その実現のために地道な努力を惜しまない
- 自らの課題を考え、その克服のために向上心をもって学習し続ける
- 積極的に新しいことにチャレンジしそこで得た知識や能力を、他の場面で活用しようとする

- さまざまな事象に対し、意欲をもって、積極的に最後までやりとげようとする
- 友達を大切に、自分を大切にできる、豊かな人間性をもつ
- リーダーシップを発揮し、自分の役割に責任をもつ
- 将来の夢をもち、自分の生き方を考える

- 知的的好奇心もった学びができる
- 計画を立て目標に向かってがんばりぬく
- 自分の長所短所を自覚し、自分のためにがんばれる
- クラスのため、みんなのため、リーダー性を身につけその力を生かせる
- 相手の立場に立って物事を考えることができる
- クラス、学校、家庭の一員として自分の存在を理解し周りの人と協調しながら、自分にできることを見つけて行動できる

- 考えを広げる  
→文章や図・表・絵などにかかれたものや他の人が言うことを正確に理解する
- 考えを深める  
→自分の考えを適切な方法で人に分かりやすく伝える
- 感性・表現を豊かにする  
→他の人と話し合うなかで自分と違う考えや新たな知識に触れる

- 学び方の基礎を身につける  
→ノートの取り方、質問の仕方、整理の仕方、生活リズムの作り方など
- 自律的に学ぶ方法を身につける  
→物事の調べ方、考えのまとめ方、他人への伝え方、話し合いの仕方、自学自習の進め方など
- 他者と協働しながら自分を高める  
→他の人とともに考え、話し合う中で考えを発展させたり、まとめたりする技法や作法など

目標の立て方や、実現のための行動の仕方など、自己の可能性を信じて自主的・自律的に行動し、生涯にわたって自分を高め成長し続けることができるよう、自立の基礎を培う

【教職員の行動指針】

- ① 主体性 (明るく・元気に・前向きに)
- ② 同僚性 (学び合い・高め合い・育ち合い)
- ③ 協働性 (バクトルは一つ)

思考力・判断力・表現力  
コミュニケーション力  
人間関係をむすぶ力

教師の共通指導指針  
家庭・地域・社会